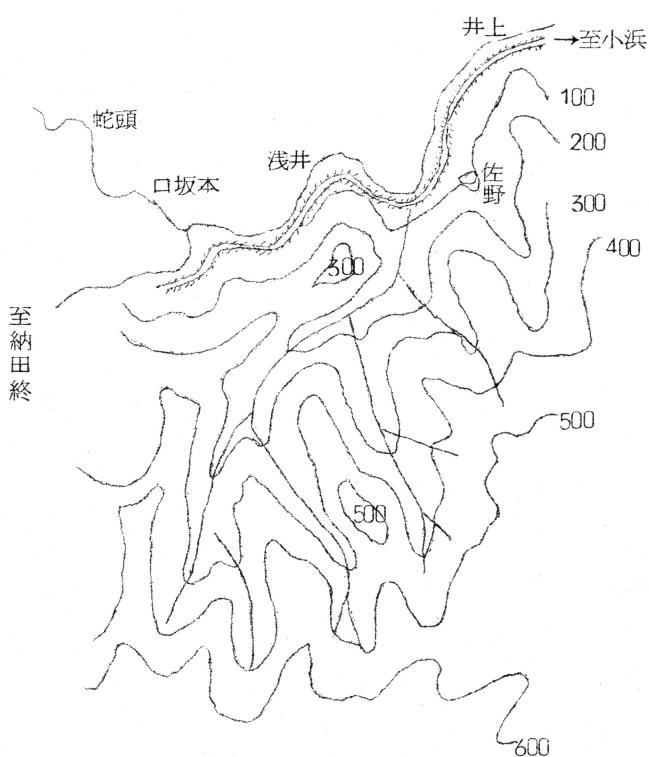


## 青葉山、一つ谷国有林採集記

一つ谷国有林



1960年10月1

日金沢駅発23時4

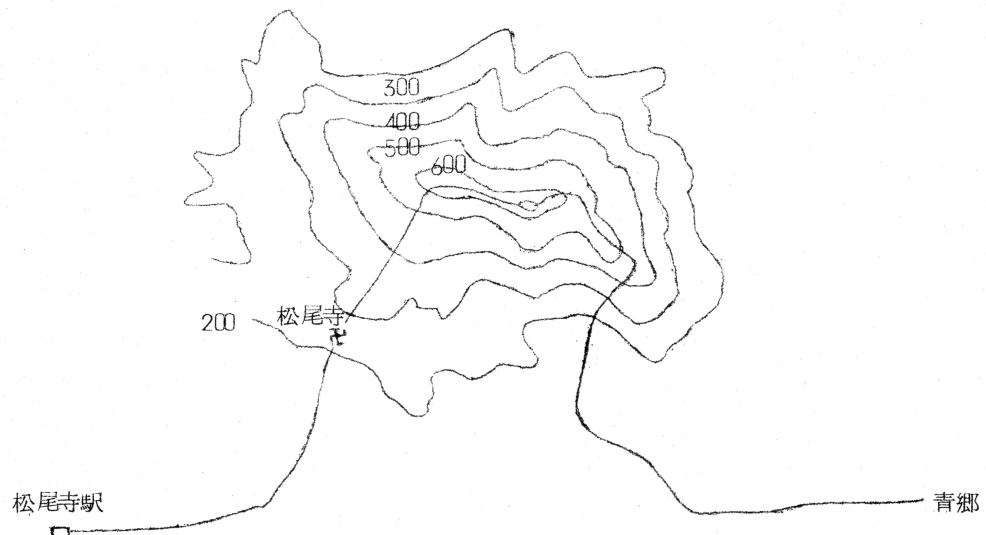
9分発大阪行に乗り

3時54分敦賀に下車し、4時54分京都行に乗り6時42分に松尾寺駅に下車し、雨が少し降る中を採集を始めた。道路の横にはエノコログサ、ムラサキエノコロ、ツユクサ、ケツユクサ、ササガヤ、サヤヌカグサ、ユブナグサ、ヨメナ、ユウガギク、カヤツリグサ、カワラマツバ、オオイタチシダ、タンキリマメ、ヌルデ、コナラ、クヌギ、オガルガヤ、ハナタデ、カワラスガ

ナ、ウシクグ、を採集し、松尾寺に近づくと、キジノオシダ、オオキジノオ、ヤマイヌワラビ、オオモミジ、シラカシを採集し、松尾寺でしばらく休んだ後、頂上めざして登つて行くと、クリ、ケサンカクスル、イワガサ、キヌタソウ、ミスミソウ、カラスノゴマ、オカタツナミソウ、アキノギンリヨウソウ、ウラジロノキ、イブキジヤコウソウ、ミヤママンネングサ、ワカサヌマギク、ハマエノコロ、モミ、キクバヤマボクチ、アザミの一種、シロヨメナ、コケイラン、イワデシダ、ウラゲエンコウカエデ、クマノミズキ、アセビ、ヤマウグイスカグラ、タニウツギ、があり、屋根に出れば、ニガキ、サイリンヨウラク、ボダイジユ、ヒモカズラ、シンジソウ、オシダ、コウヤコケシノブ、シロヨメナ × ノコンギクらしきもの、サイトウガヤ、オオキンレイカ、青郷に降る道の横には、イヌヅナ、ツリバナ、ナガバコウヤボウキ、センブリ、ナワシログミ

(探)

## 青葉山



、コバノミツバツツジ、コツバネウツギ、クロモジ、コバノクロウメモドキ、ヤブタバコ、ツルニンジン、ヤブハギ、ツクシハギ、センボンヤリ、ヒキオコシ、ミヤマヤブタバコ、アキグミ、マツカゼソウ、ジャコウソウ、アブラススキ、チゴザサ、を採集して、青郷駅に14時10分につき、14時29分発敦賀行に乗り、小浜で降りバスに乗りて、一つ谷に向い、名田庄村井上部落の下野家に宿泊を頼み、標本整理し、3日8時に出発し、国有林の管理者に許可を得て林道にはいると、フユイチゴ、ヤマイヌワラビ、ヒロハイヌワラビ、タニイヌワラビ、オオフジシダ、ヘビノネコザ、ナライシダ、ヒメワラビ、アシボソ、アキノノゲシ、アカショウマ、ハナタデ、アカバナ、ケツユクサ、ヌリトラノオ、ホツバイヌワラビ、ホツバコケシノブ、シシラン、シノブカグマ、アラカシ、ツクバネガシ、オサシダ、ハイホラゴケ、シケケシダ、ウスヒメワラビ、モミジチャルメルソウ、サンインヒキオコシ、イナカギク、ミカエリソウ、イノデモドキ、リヨウメンシダ、ヤワラシダ、アブラチャヤン、サカキ、を採集して、林道から谷にはいると、シロヤマシダ、シラガシダの雄姿が見え始める。更に登ると、サカゲイノデ、イノデモドキが斜面いつばいにあるではないか。このような所にはナメライノデがあるのではないかと思ふ。1株、1株たんねんに見て行くと、イノデモドキに比して大きくて、葉の表面のつやが少なく、ソーラスが中肋よりについている。ナメライノデを2~3株発見し、10本ばかり採集し、更に登ると、ミヤマノコギリシダが2株ばかりあり、その下にホウノカワシダが1本あつた。私はこのシダは尾鷲、宇和島に次いで3回目である。その上にはナツエビネがあり、更に少に登ると、シマシロヤマシダがあつた。

時間の都合と、林道に降り、奥へ行くと、コバンノキ、カナクギノキ、アキノギンリヨウソウ

(探)

ツチアケビ、ヒヨドリジヨウゴ、ヤマクルマバナ、シユウブンソウ、イノコズチ、ナガバヤブマオウ、オオバアサガラ、アキノハハコグサ、ヤナギタデ、ヤマトキホコリ、カエデドコロ、ニワトコ、ヨグソミネバリ、ケケンボナシ、オニカナワラビ、ニガイチゴ、ウリハダカエデ、ムラサキシキブ、チドリノキ、シラゲヒメジソ type. ヒメジソ、ミヤマヤブタバコ、ホソバガシクビソウ、ヘクソカズラ、ビロウドヤイトバナ、を採集し、谷川の向岸に行けば四国で採集したナチシダ、ギンバイソウ、ミヤマクロモシ、オニイタヤ、を採集して、時間を見ると、3時40分であるので、急いで帰り始めた。少し行くと、岩屋寺で採集したイワヤシダの雄姿を発見し、10本ばかり採集して、バスに乗つて帰宅した。

(渡辺 定路 記)

採 集 ノ 一 ト か ら

(1) *Celastrus insularis* Koidz. オオツルウメモドキ

ツルウメモドキとの相違点は葉の下面の中肋及び脈上に黄褐色の短剛毛があり、葉が稍々大きくまるい形をしている。小生は日野山で1960年7月23日に採集した。

(2) *Omphalodes laevisperma* Nakai エチゴルリソウ

この種は、ルリソウと、ヤマルリソウとの中間的な形態をなしている。花序は2分岐し(ルリソウに似ている)分果のふちにかぎ状の刺はない。(ヤマルリソウに似ている)

(3) *Lindera membranacea* Maxin. オオバクロモジ

クロモジに比して、葉は稍々大きく、側脈は5~8対(クロモジ4~6対)と稍々多く、下面脈上に長毛を散生する。小生が越前で採集したものは、オオバクロモジで、若狭で採集したものはクロモジであつた。

(4) *Lindera sericea* (Sieb. et Zucc.) Blume

var. *tenuis* (Nakai) Momiyama ミヤマクロモジ

葉の下面の脈は隆起し、帶白色で、側脈は6~9対で、下面に長毛がある。

オオバクロモジより葉も大きい。

小生は、1960年10月3日若狭、名田庄村一つ谷で採集。

(5) *Polygonatum macranthum* (Maxin) Koidy. オオナルコユリ

ナルコユリに比して、葉も幅広く、壮大であり、花絲は基部著しく肥厚し、先端を除き、細突起あり、花のない時は葉の下面脈上に細突起のないものがオオナルコユリであるものが、ナルコユリである。

(6) *Melampyrum rasseum* Maxim. ツクシママコナ